

アニメ「ちびまる子ちゃん」の絵コンテスキャン

日本アニメーション株式会社

概要／課題

1990年に第一期を放送し、その後、1995年1月8日から現在に至るまで、フジテレビ系列（毎週日曜日・18時～）でTVアニメーションシリーズとして放送を継続している「ちびまる子ちゃん」の絵コンテを、同シリーズ通算1400超におよぶエピソードのデジタル保存の第一歩として、デジタルデータ化した。

本事業では、漫画家で原作者である故さくらももこ氏による脚本エピソードを中心に、約200話相当を抽出し、スキャンング作業を実施した。

体制／手法

【日本アニメーション】

- ① 保管庫・資料室での絵コンテ原版の検索
- ② アニメ制作委託先での補足資料等調査・発掘

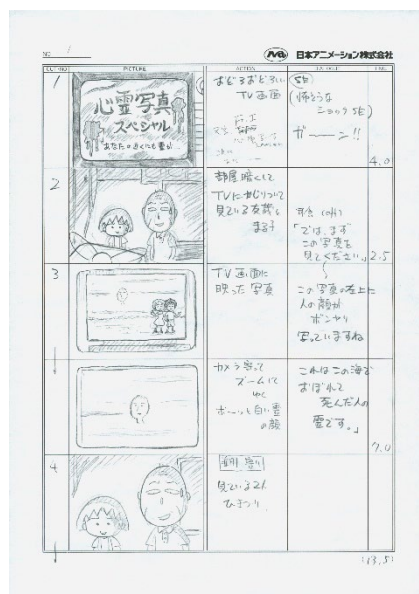
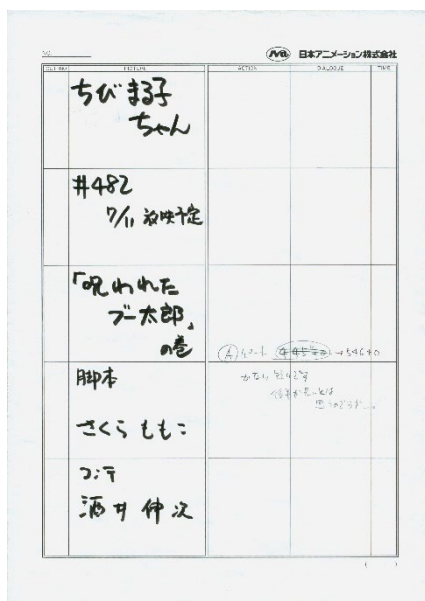
【寺田倉庫】

- ① 絵コンテ確認
- ② 作業用整理

【誠勝】

- スキャンング
- データ補正

成果



【成果物】

- ・アニメ「ちびまる子ちゃん」エピソード別絵コンテのデジタルデータ
(各話別データ化・300dpi・HD 収蔵/保管)

【公開予定】

- ・公式サイト等での事業報告および公開
(<https://www.nippon-animation.co.jp/news/information/16450/>)
- ・2025 年に控えている同アニメーション放送 30 周年、および
日本アニメーション創業 50 周年事業における展示企画での公開資料

【今後の課題】

- ・作業途上において、保管箱外側の梱包内容記載と実際の内容物が異なるなど、制作終了後の「絵コンテ」保管の実態に関し、本機会を通じて、「当時のまま」という保管の詳細を把握することとなった。この経験から「教訓」としてスタッフ間で共有すべき事項は意義深く、保管体制やリストの適時点検、アップデートが急務となった。
- ・今後は当該データと、放送別メタデータとの連結を通じて、データの統合を図り、デジタル・アーカイブとしての管理システムの構築や検索・閲覧機能の拡充を図ることが、社内外における利活用の道を拓くものと思われる。

【文化的・社会的・経済的な意義/今後の利活用】

- ・アニメ制作面では「ちびまる子ちゃん」シリーズ制作における資料として、今まで以上のスピード感で制作スタッフ間の共有が可能となり、これによる若手スタッフの作品理解・人材育成の推進強化となる。また、制作委託などで連携する外部スタジオへの参考資料としての活用にも一助となり、同作品固有の演出や画面作り等、普遍的な作風の維持にも大いに寄与するものである。
- ・実施機会の増加しているアニメ業界での公開セミナーやワークショップなどで、具体的な資料(事例)として投影可能な教材として活用するなど、デジタルデータの利便性を活かしたアニメ文化普及活動や、興味を有した若い人材の育成活動において内容充実が可能となる。
- ・漫画文化、アニメ文化の両面から、日本のみならずアジア圏におよんで人気を博している故さくらももこ氏の業績を伝える貴重な史料として、当該デジタルデータが未来においても閲覧・参照いただけることは意義深い。